

第2回中般若区地元説明会質問等要旨

- 日 時 平成25年6月23日(日) 午後7時3分～午後10時12分
(3時間9分)
- 場 所 学習等供用施設 中般若会館
- 出席者 中般若区住民47名(42世帯)
- 傍聴者 市議会議員15名、報道関係者1名
- 市役所 市長、副市長、教育長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め
対策室員5名
- 準備室 尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議準備室長始め準備室員
2名

(1) 経緯に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・候補地が中般若町北浦地内に決まるとは限らないという説明を5年前に受け、平成22年5月に犬山の候補地に決定した。その時点で江南の候補地に決まっていたならばあきらめもつくが、それをひっくり返して、江南市が候補地を引き受けることに納得できない。2市2町で決めた犬山の候補地に持って行って欲しい。</p>	<p>・平成22年5月に犬山の候補地に一旦決定した。そこから3年経ったが、進展しなかったため、昨年10月2日に江南市が手を挙げた。現時点では、江南の候補地で進めていくことが第1小ブロック会議の考えであるので、そこはしっかりとご理解をいただきたい。</p>
<p>・今日の説明では、昨年10月2日に江南市長が受入表明をした以降の話が中心となっているが、それ以前、2市2町がそれぞれ候補地を持ち寄って話し合いをする段階で、既に江南の候補地は中般若町北浦地内に決まっていたのではないかと。</p>	<p>・平成20年9月に中般若町北浦地内を江南市の候補地として第1小ブロック会議に出している。その後、第1小ブロック会議で検討を重ね、平成22年5月に犬山の候補地に決定されたことによって、中般若町北浦地内の話は一度消えている。今回、改めて江南市が検討を重ねた結果、中般若町北浦地内を選定している。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・今日の説明を聞いて、すばらしい施設ができると感じたが、それならば、なぜ犬山の候補地が住民の反対で駄目になったのか。</p>	<p>・犬山の候補地では、お地元の方に施設の安全性などの説明の段階まで行けなかった。候補地決定後の最初の平成22年9月12日の説明会の開催を地元の役員の了解なしに強行したことにより、その後、説明会が開けなかった。さらに唯一の地権者から「地元の同意が得られなければ土地の提供を再考する。」という文書まで出されたことにより駄目になったものである。</p>
<p>・平成24年8月19日の犬山市池野地区との意見交換会で「江南市の方は、池野地区のように地元からの反対は受けておらず、話はかなり進んでいるのか。」という神尾の町内会の役員からの質問に対し、江南市長は「私はそう認識している。地元地域からの反対は受けていない。その点については、私は始めから申し上げている。」と回答している。そのことに対して、前回の中般若区の地元説明会で、江南市長は「そんなことは言っていない。」と言われた。しかし、このことは会議録に残っている。「地元地域からの反対は受けていない。」とは、どこの地元地域を言ってみえるのか。</p>	<p>・そのときは、江南市のどこでということとは申し上げていない。</p> <p>江南市は、市民の代表である市議会議員のご意見を伺いながら進めており、ご理解をお願いしたい。</p>
<p>・平成20年12月定例会の森議員の発言で「江南市の候補地である中般若町北浦地内については、議会への説明では、地元の了解はほぼ得ているということでありました。」とある。そもそもの発端の話で、中般若町北浦地内の候補地をあげた時の話であるが、不審に思うことがたくさんある。</p>	<p>・この件に関しては、経過を詳しく承知していないため発言を控えたい。ただし、今回、中般若町北浦地内を選定するに当たっては、改めて市内の5か所の候補地から選定作業を行っている。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・ここには、単に公園整備計画があったということではなく、平成7年に地元説明会まで開いて、市は区民に協力を求めた。平成11年には、市は砂利採取業者との折衝を区に依頼した。こうした経緯もあって、公園を整備することを約束していたにも関わらず、市は区に何の事前の説明もなく、平成20年にごみ処理施設の候補地にあげた。約束を一方的に破るのは、中般若区の信頼関係を損なうものである。</p>	<p>・経緯経過をしっかりと調べ、答弁させていただく。</p>
<p>・平成24年8月19日の犬山市池野地区との意見交換会で、堀市長が「地元では反対の動きがない。」と言われたようだが、中般若区の役員が平成20年9月19日に江南市に出した候補地の選定についての申入書があり、ここではっきりと中般若町北浦地内を候補地とすることに撤回を申し入れている。市長の発言とは食い違う。</p>	<p>・回答なし（事実確認中）</p>

(2) 候補地選定に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・中般若町北浦地内は、両側が堤防となっているが、その辺りはどのような評価がなされたのか。</p>	<p>・国土交通省の木曾川上流河川事務所に確認し、建設しても大丈夫という回答をいただいている。また、国が200年に一度の規模の洪水が発生した場合の浸水被害を示したハザードマップを発表しているが、この場所は問題ない。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・重要要素の中の「近くの住居の少なさ」に関して、「安心安全な施設であるならば、この項目は矛盾しているんじゃないか。」という意見が出ていたはずであるが、どうなっているのか。</p>	<p>・ごみ処理施設は生活に必要不可欠な施設であるが、いまだに迷惑施設と捉えられる方がたくさんいることも事実である。また、多くの自治体で重要要素に加えられていることから江南市も住居の少なさについては、重要要素に入れている。</p>
<p>・基本要素、重要要素、参考要素の点数の配点については考え直していただけたのか。</p> <p>「土地利用の現況」も、結局、〇のままになっているが、考察いただけたのか。</p> <p>市街地に建設すれば良いのではという所で、市街地では運搬効率が悪化すると書いてあるにも関わらず、別のところでは、これは中般若町北浦地内に関してはということなのかも知れないが、パッカー車の台数は1時間当たり12台だから交通に影響がないと書いている。また、市街地では道路の拡幅をする際に用地確保が困難と書いてあるが、では中般若町北浦地内に関しては堤防道路の幅を広くしていただけたということか。</p>	<p>・評価がおかしいと言われる方もあれば、妥当と言われる方もあり、さまざまな意見が寄せられているのが現状である。</p> <p>重み付けについては、それぞれの自治体で、いろいろと特性を考えながら付けている。</p>

(3) 環境への疑問に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・環境アセスメントで、施設が建てられないという結果が出た場合、どのような対応をするのか。</p>	<p>・環境アセスメントは建設の可否を判断するためのものではなく、環境に与える影響を少なくするためには、どのような対策を講じるべきかを検討することが主な目的となる。</p>
<p>・インターネットで調べたら、重金属はPM2.5にくっついて出ると書かれてあった。PM2.5について、次回にでもご説明がいただきたい。</p>	<p>・PM2.5については、現時点で国の基準は定められていないが、今後、必要に応じて調査していく。</p>

(4) 施設に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・候補地選定の経緯、経過については、説明を受けて分かった。今、行政側に求められるものは、計画年度や具体的な施設の青写真を示すことである。行政には具体的な青写真ができていないはずなので、それを説明して欲しい。</p>	<p>・処理方式、規模等の施設内容については何も決まっていない。2市2町の広域化実施計画の中で、日量最大236tと決めてはいるが、見直しも必要である。こうしたことについては、今後、住民の皆様も参加して立ち上げる施設整備検討委員会の中で検討していく。</p> <p>スケジュールについては、平成30年度の供用開始を目標としている。江南丹羽環境管理組合の焼却施設は県下で最も古い施設で、そのお地元の方には、平成30年度に新施設ができるまでというお話をしている。少しでも早く供用開始ができるように頑張りたい。</p>

(5) その他

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・堤防道路に行くまでどういう運搬経路をたどるのか知りたい。</p>	<p>・運搬経路については、基本的には県道浅井犬山線、あるいは愛岐南北線のような大きな道路になり、郷中道路は通行しない。具体的な経路については、今後、住民の皆さんの意見もしっかりとお伺いしながら決めていく。</p>
<p>・南北線は通学路になっているので、通らないでいただきたい。もしくは、ガードレールなどで歩車道を確実に分離していただきたい。</p>	<p>・ガードレール設置については、地域振興策の1つということで、皆さんからご要望をいただき、第1小ブロック会議で検討させていただく。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・江南市は40%以上の人口を占め、今までずっと大口町にごみ処理をお願いしてきたことを考えれば、江南市が手を挙げたことは間違っていない。今後は、輪番制で施設を引き受けることにしてはどうか。</p> <p>ごみ処理施設の安全性や環境面への不安を口にされる方がおみえになるが、行政から説明を聞いて、そうした心配がないことが分かった。そもそも、今どき行政がいい加減な施設を造る訳がない。</p> <p>ごみ処理施設が迷惑施設との考えは止めて、例えば堤防を挟んだ北側の河川敷に芝生の運動場を造り、子どもが遊べるようにしていただけたら良いと思う。</p>	<p>・意見としてお伺いする。</p>
<p>・実家が愛北広域事務組合のし尿処理場の近くにあるが、昔はにおいがひどかった。現在は改善され、そうした問題はない。他地域からは、広域の施設をなにも持たない江南市が今回はごみ処理施設を引き受けるべきだという意見が出ている。輪番制のルールを決めることを前提に江南の候補地で進めるべきである。</p> <p>反対している人は一部の人だけだと思う。行政は「お願いします」と言うだけではなく、もう少し突っ込んだ地域振興策の説明をして、「これもやるから賛成してほしい」というアピールをしていただきたい。</p>	<p>・意見としてお伺いする。</p>
<p>・7haのうちから4ha程度の敷地を考えているとの説明があったが、堤防に挟まれた土地なので、残された用地の活用も考えていただきたい。</p>	<p>・第1小ブロック会議において、7haのどの位置に、どれぐらいの面積を対象としていくかの検討の開始が決定されたため、第1小ブロック会議で了承を得て、皆さまにお示ししたいと考えている。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・行政と住民がしっかりと話し合いをして、ごみ処理施設の建設、公園、道路整備などを行い、子孫に誇れるような中般若にしていきたい。</p>	<p>・意見としてお伺いする</p>
<p>・地元同意について、「了承が得られたと判断した段階で」と曖昧な言葉になっている。これでは、賛成の方も反対の方も納得がいかないのではないか。</p>	<p>・現在、第1小ブロック会議の方で、他の自治体における地元同意の状況を調査している。その結果を踏まえて、今後、第1小ブロック会議の中で検討していく。</p>
<p>・前回の説明会で、広報こうなん5月号の記事が中般若町北浦ありきとなっていることを訂正すべきだとの要望が出されたが、どうなったのか。</p>	<p>・前回の説明会で回答させていただいたとおり、広報こうなん5月号では、情報を作為的に使ったということではなく、事実のみを正確に掲載させていただいている。</p>
<p>・他の地区の方には中般若区の様子が分からない。と同時に、私たちも他の地区の様子が詳しく知りたいので、これからは公開でお願いしたい。要旨で構わないので、1回目の地元説明会の議事録が欲しい。</p>	<p>・広報こうなん7月号で、表紙を含めて5頁に亘って、3地区の地元説明会で出た質疑応答を掲載させていただく。また、ホームページで3地区のそれぞれの主な質疑応答をより詳しく掲載させていただく。</p>
<p>・説明会資料を事前に配布してほしい。</p>	<p>・今後、検討させていただく。</p>
<p>・先回の説明会で、他の4か所の候補地についても説明会を開催することをお願いしたが、どうなったのか。</p>	<p>・中般若区以外の4か所の区に対しても、区長・区役員に説明を行った。</p>